

新 ももも書店

令和元年度 愛知教育大学附属岡崎中学校 読書だより

「いいえ、
おぼろげな香です。」
もみまよ。AIな
らんかほい
です。

第28話 R01.09.02(月)
「落語の世界には、
自分が存在する。」

★今回、紹介する本は、『お多福来い来い』（著/細川 貂々、出版/小学館）です。

映画にもなった『ツレがうつになりまして。』の作者の最新コミックエッセイ。今回は、落語をテーマに
にっていて、アプローチがとても新鮮。

「難しい」「笑えないのは自分がダメ」だと、落語を少し敬遠していた作者が、さまざまな落語と出会っていきます（もちろん、ツレもたくさんでできます…。息子も）。

そのときに、「わからない」と素直につぶやいたり、人物や展開に怒ったりするなど、非常に素直に落語とふれあっていき感じがとてもよいです。

しかも、ネガティブ思考の作者が、落語をとおし
て、少しずつ、ダメな自分を認め、今ある幸せに気づいていく流れが素晴らしいです。
有名な落語の噺も多数でてきて勉強にもなります。ぜひ、この本で前向き思考に！！



優しい気もちになれろコミックエッセイ

『でも、「もしも」が
あったとしても、
今のままが
いいと思いました。』
(p.170)

人間の業の
肯定ともいわれる
落語を、作者流
に解釈していて、
すごいです。

「芝浜」「寿限無」など、
有名なおぼろげな
もの、います!!★

また夢に
なると
いいね。

うまくいかないうち
だって、考え方を
フックとシアワセに
なれます。
(p.220)

